公益社団法人全国和牛登録協会

令和７年度事業報告書

地政学的リスクの急拡大や地球規模での温暖化の進行に加え、少子高齢化による人手不足は年々深刻化しており、あらゆる分野において将来への不確実性や不透明性が高まりました。なかでも和牛を取り巻く情勢については、長期化する生産資材高騰への対応と子牛供給の安定化に向けた生産基盤の維持・強化は最重要課題となっています。このような中、令和７年４月農林水産省では、新しい「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」を策定、公表しました。昨今の目まぐるしく変化する情勢に適応していくため、生産コスト低減と同時に、我が国の畜産物としての価値を一層高め、経営の安定化を目指す方針が示されました。これを受けて、各道府県では、令和12年度を目標年度とした新たな「酪農・肉用牛生産近代化計画」を策定しました。一方、協会では、第13回全国和牛能力共進会北海道大会（以下「北海道全共」という）において「魅力発信　新しい力でつなぐ　和牛の未来」を開催テーマに掲げ、改良目標の実現に向けた取り組みを本格化させました。種牛においては、生産性の向上を目指し、分娩間隔育種価活用の普及と定着を図り、繁殖能力優秀な母牛から生産された優良雌牛の地域内保留に努めました。また、種雄牛造成側からは、直接検定を通じた飼料利用性にかかわる指標（ＲＦＩ：余剰飼料摂取量）の活用を推進しました。さらに、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとし、育種組合を中心とした各地域において生産された種雄牛の産子調査や優良雌牛系統の調査により、地域における系統の特色確認を行いました。肉牛においては、牛肉の新たな価値観の定着を図るため、全共への取り組みを契機とし、脂肪の質の育種価評価体制の構築と育種価の積極的な活用を促し、牛肉の一般成分から導き出される新たな評価指標（ＲＦＶ：粗脂肪含量相対値）等の普及と美味しさの見える化に努めました。

さて、昨今の子牛価格の動向や飼料高騰等の影響を受け、繁殖経営における収益性の確保が不安定な状況を反映し､廃業や離農が進行し、法人経営や大規模経営においては優良雌牛の増頭から更新へと切り替わり､登録事業については大変厳しい状況となっています。基本本原登録50,712頭（前年対比88.3％）と昨年に続き大幅に減少し、高等登録については980頭（前年対比91.6％）、子牛登記についても、471,949頭（前年対比93.2％）と頭数の減少が加速しており、持続的生産を担うための生産基盤の維持・強化は喫緊の課題となっています。

育種改良事業については、現場後代検定法を受検した77頭の新規種雄牛の成績では、ＢＭＳNo.10以上の能力を持つものは52頭（67.5％）となり、全国的にも産肉能力優秀な種雄牛が確実に造成されている状態が確認できました。一方で、牛肉の食味性向上に関連する指標としての脂肪の質については、検定成績と併せて参考情報として去勢牛の平均値をσ単位で掲載していますが、平均以上の成績を持つものは73頭中32頭（43.8％）とやや物足りなく、脂肪の量から質への転換に向けた改良の加速化が必要です。脂肪の質の測定データがない検定種雄牛も一部に見られ、データ収集体制の一層の強化が求められます。なお、現在、全国37道府県で脂肪の質の育種価評価を実施し、評価地域は次第に増えてきましたが、供用中繁殖雌牛の育種価判明率は20％程度と、脂肪の質改良体制の構築は喫緊の課題です。

また、昨今の産肉能力改良の進展を踏まえ、これからの和牛改良の方向性として、新たな形質への改良を促すと同時に、登記・登録証明書類の価値観を高めるため、新たに繁殖性と飼料

利用性の育種価指標表示を追加し、育種価指標表示区分の見直しとともに、登録資格における産肉能力育種価条件の改正を行いました。さらに、登録事業上実施している遺伝子型検査（親子判定）に用いる和牛チップＳＮＰパネルの改良を行い、経済能力に関する遺伝子やＳＮＰｓ、遺伝的不良形質等についても掲載した「和牛チップＤＮＡ情報活用報告書」の作成を開始し、登録の付加価値を高める取り組みを行いました。当面の間は、対象牛を限定していますが、状況を見ながら対象牛の範囲を拡大させていきます。また、繁殖成績優秀な和牛改良組合20組合を表彰し、関係者とともに生産性の高い集団づくりの重要性を確認しました。

技術者等養成研修事業については、全国から多数の受講があり、登記検査委員並びに地方審査委員認定講習会、和牛入門ゼミナール、ブロック別地方審査委員会を計画どおり開催することができました。また、当初の計画から約１年遅れましたが、新たな和牛登録ＷＥＢシステムによる運用を開始し、デジタル鼻紋システムについても実用化に向けて準備を進めました。

さて、和牛遺伝資源の保護については、農林水産省による「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律附則第３条に係る検討会」のとりまとめにおいて、和牛受精卵の需要が増加している中で、家畜受精卵の生産と流通の実態を正確に把握し、不正競争行為への抑止力の向上も必要とされました。協会としても、和牛の遺伝資源の適切な管理・保護の取り組みに協力し、関連団体と協力して流出抑制のための対応を行いました。

また、運営管理の部については、会員数は33,759名（前年対比90.8%）と前年より3,421名の減となり、高齢化並びに離農による会員の減少は引き続き進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。そのような中、北海道全共では、高校及び農業大学校の部（特別区）に全国27道県からのエントリーがあり、自校で生産された和牛の飼育管理を通じ、地域の和牛の魅力に触れ、学校教育の中で畜産を学ぶ若い担い手の育成につながることを期待しています。この他の事業については、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により概ね計画通りに実施することができました。

Ⅰ．事業の部

１．登録・検定事業

１）登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計51,692頭（前年度比88.4%）、前年度実績比6,808頭の減少でした。

種　類	基本登録 （雄・雌含）	本原登録 （雄・雌含）	高等登録 （雄・雌含）	計 （前年度比）
黒毛和種	31,347	19,285	980	51,612 (88.4)
褐毛和種	60	11	－	71 (91.0)
無角和種	9	－	－	9 (100.0)
計 （前年度比）	31,416 (88.9)	19,296 (87.3)	980 (91.6)	51,692 (88.4)
前年度実績	35,331	22,099	1,070	58,500

子牛登記頭数は 471,949頭(前年度比93.2%)で、前年度実績比34,678頭の減少でした。

また、血統証明書発行件数は4,487件（前年度比88.2%）でした。

２）種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛ＤＮＡデータベースを活用したＳＮＰ情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	（ 0.0%）
産肉能力検定　直接法	102 件	93 件	（ 109.7%）
〃　間接法	0 件	0 件	（ 0.0%）
現場後代検定法	101 件	103 件	（ 99.0%）
遺伝子型調査	101,630 件	100,112 件	（ 101.5%）
〃　（再交付）	2,421 件	2,323 件	（ 104.2%）
〃　（不良形質）	693 件	748 件	（ 92.6%）

３）現場後代検定合同調査会の開催について

各道府県の特色ある種雄牛造成の推進及び若い種雄牛の発掘を目的に、令和８年２月12日～13日の間、京都府京都市において現場後代検定合同調査会を開催しました。11道県から11頭の種雄牛の後代33頭（去勢17頭，雌16頭）が出品されました。また、シンポジウムは、「魅力発信から共感の創出へ　和牛の新価値観」というテーマを掲げて開催しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会にも必要に応じて助成並びに指導を行いました。

４）モニタリング調査の実施について

国の畜産生産力・生産体制強化対策事業「和牛の信頼確保対策」を実施し、各道府県支部・委託団体の協力のもと遺伝子型による親子判定のモニタリング調査を行いました。

２．育種改良事業

１）集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。育種牛認定頭数は雄26頭、雌447頭（新規279頭、再認定168頭）となりました。

十勝(11/7)、県南(10/30)、いわて中央(10/31)、栗原(3/4)、登米(3/5)、みどりの(3/6)、城崎(10/15)、淡路（3/10）、美方(3/9)、能義(4/17)、広島県(11/28)、北松地区(12/8)、五島(12/9)、宮崎中央（3/23）、南那珂（3/24）、都城(3/25)、西諸県郡市(3/26)、肝属(12/3)、姶良(12/2)、鹿児島中央(12/4)

２）和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は 423組合となりました。効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮への取り組みが重要となっています。これらの取り組みが改良組合の活動強化と改良組織の育成強化、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

（１）和牛改良組合育成強化研修会の開催

本研修会は、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の小集団活動のあり方や個々の農業経営強化に努めるとともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催し、改良組合が抱えている問題点の解決の一助となりました。

地　区	会　　場	期　日	参加者数
東部地区	宮城県大崎市・遠田郡美里町	12月８日～９日	101名
中部地区	岐阜県高山市	12月23日～24日	114名
中四国地区	京都府福知山市	２月19日～20日	49名
九州地区	佐賀県佐賀市・多久市	２月26日～27日	87名

（２）和牛改良組合女性部研修会　　令和８年３月12日（72名）

和牛改良組合の女性部を対象に、和牛改良の知識習得を図り、和牛生産を支える女性の交流を深めることを目的に開催しました。

（３）支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計34回の開催助成と講師の派遣を行いました。

（４）認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部５組合の表彰を行いました。

・分娩間隔実績値の部

（東部）　北海道　　浜益和牛生産改良組合
　　山形県　　最上町和牛改良組合
（中部）　岐阜県　　海津和牛改良組合
　　〃　　中濃和牛改良組合
（中四国）島根県　　西いわみ和牛改良組合

（九州）　長崎県　　鷹島町和牛改良組合
〃　　生月町和牛改良組合
〃　　長崎西彼和牛改良組合
〃　　今福・調川地区和牛改良組合
〃　　小値賀町和牛改良組合
〃　　田平町和牛改良組合
鹿児島県　喜界町和牛改良組合
〃　　田代町和牛改良組合
〃　　屋久島和牛改良組合
〃　　南大隅町和牛改良組合

・分娩間隔・飼養管理技術の部
（東部）　北海道　　浦河町和牛改良組合
〃　　清里町和牛生産改良組合
（中部）　岐阜県　　南飛騨和牛改良組合
（中四国）兵庫県　　美方郡和牛改良組合
〃　　養父市和牛改良組合

3）各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。産肉能力については、支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業について取り組み、育種価評価事業に活用しました。また、脂肪の質にかかわる育種価評価についても各道府県との連携のもと実施し、情報提供を行いました。

牛肉の美味しさに関する調査については、「環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業」等を利用して、牛肉の一般成分や脂肪交雑の形状等のデータ収集を行うとともに、和牛肉の新たな客観的評価手法の検討を進めました。

ゲノミック評価については、各道府県と協力し、枝肉形質における多角的な精度の検証を行うとともに、繁殖能力や飼料利用性並びに食味性に関わる形質についても評価手法の検証作業を進めました。また、遺伝的多様性の確保を図るため、ＳＮＰ情報を用いた系統分類を実施し、各地域で取り組む系統再構築のための情報として活用を進めました。さらに、協会で開発・活用を進める和牛ＳＮＰチップ（和牛パネル）に繁殖能力や食味性と関連するＳＮＰを搭載し、新たに「和牛チップＤＮＡ情報活用報告書」の発行を行いました。

なお、本年度は産肉情報入力０件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報84,937件）、情報解析（年間）15件、情報解析（１回）37件でした。

4）優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会との連携を強化し、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。また、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動にも協力し、和牛遺伝資源の重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

５）各種委員会について

中央審査委員会　　令和７年４月11日
育種推進委員会　　令和７年６月19日
産肉能力検定委員会　　令和８年１月23日
産肉能力検定小委員会　　令和７年５月７日、令和７年９月24日
和牛改良組合強化委員会　令和８年１月22日

３．技術者等養成研修事業

１）地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり３会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第234回	8/27～ 8/29	山形県置賜郡川西町 ＪＡ山形おきたま　置賜家畜市場	20名
第235回	10/ 7～10/ 9	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	23名
第236回	11/19～11/20	宮崎県宮崎市 ＪＡみやざき　宮崎中央家畜市場	23名

２）登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第28回	4/23～ 4/25	兵庫県加西市　神戸大学大学院農学研究科	29名
第29回	5/14～ 5/16	附属食資源教育研究センター	30名

３）和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/14～10/17	青森県上北郡七戸町 青森県家畜市場	20名
西日本	11/ 9～11/12	広島県三次市 全農広島県本部三次家畜市場	32名

改良の基礎研修

講義の部	期間	会場	受講者数
全体	6/12～6/13	京都府京都市　全国和牛登録協会２階ホール	49名

４）支部・支所職員事務研修会の開催について

登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。

支部・支所職員事務研修会　　令和７年６月30日～７月１日（25名）

５）第28回和牛育種・改良問題セミナーの開催について　令和８年１月15日（44名）

育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象とし、「和牛チップＤＮＡ情報活用報告書」に記載している経済形質と関連するＳＮＰについて形質の特徴や遺伝子頻度について報告を行いました。また、和牛肉の新たな価値観に関連する「粗脂肪含量相対値（ＲＦＶ）」についてデータの収集や活用方法について説明したほか、地域の特色ある牛肉ブランドにかかわる取り組みとして高知県の事例について発表いただきました。

６）全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

（１）全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議　令和７年12月12日　（第79回）

登録協議会　　令和８年１月22日　（第79回）

（２）地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、以下の４ブロックで開催し、令和７年度事業の実施計画等について説明し、審査眼の統一を図るために審査研修を行いました。

ブロック	期　日	会場	参加者数
東部地区	5/22～ 5/23	栃木県日光市・矢板市	110名
中部地区	5/19～ 5/20	三重県松阪市	47名
中四国地区	5/ 8～ 5/ 9	島根県松江市	108名
九州地区	5/29～ 5/30	大分県大分市・玖珠郡玖珠町	170名

４．普及啓発事業

１）第13回全国和牛能力共進会について

第13回全共第３回全国連絡協議会（１月22日）を開催し、最終比較審査会場の施設整備方針や家畜衛生対策、今後のスケジュール等について説明を行いました。

２）各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

３）高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会について

各県単位で取り組まれる高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会に対して支援を行いました。

４）トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認システムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に協力しました。

５）各種刊行物

（１）登録簿　　５巻（基本３巻、本原２巻）※

（２）和牛誌　　４冊（76巻１号～４号）

（３）和牛だより　　１回（第55号）

（４）和牛産肉能力検定報告書(令和６年度直接法、令和６年度承認分現場後代検定法)※

※登録簿と和牛産肉能力検定報告書は電子媒体（ＤＶＤ）にて発行

５．その他

畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち家畜能力等向上強化推進事業（多様な改良情報の収集・分析等対策）を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力育種価評価に活用しました。また、国の施策に基づく「和牛の信頼確保対策」や、「地域固有系統の再構築支援対策」「和牛の飼料効率向上対策事業」「デジタル式鼻紋採取システム構築・検証事業」「環境調和型持続的肉用牛生産体制推進事業」「和牛の繁殖能力の遺伝情報検証普及促進事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

Ⅱ．運営管理の部

１．会員および賛助会員について

会員数は33,759名（前年対比90.8%）、前年度実績比3,421名減少しました。賛助会員については、中央団体12団体、地方団体40団体、個人20名でした。

２．会議等の開催について

１）第79回通常総会　令和７年６月20日

［報告事項］

第１号報告　令和６年度事業成績報告

第２号報告　令和７年度事業計画報告

第３号報告　令和７年度収支予算報告

［提出議案］

第１号議案　令和６年度財務諸表承認の件

第２号議案　令和７年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件

第３号議案　令和７年度役員報酬承認の件

第４号議案　理事・監事選任の件

第５号議案　付帯決議の件

２）理事会

第221回　令和７年６月４日

［審議事項］
第１号議案　令和６年度事業報告について
第２号議案　令和６年度財務諸表について
第３号議案　理事・監事の補充に伴う候補者の推薦について
第４号議案　規程類の制定と改正について
第５号議案　遺伝子型検査料金の改正について
第６号議案　第79回通常総会の開催について
第７号議案　令和７年度社員選挙における選挙区について
第８号議案　登録事業負担金及び改良事業負担金の設定について
第９号議案　特定費用準備資金の積立計画について
第10号議案　支部内部規程の改正について
第11号議案　第13回全国和牛能力共進会最終比較審査会場の名称の変更について
［報告事項］
１）中央審査委員の改選について
２）和牛チップ（新パネル）にかかわるＳＮＰ情報の活用について
３）令和６年度会員並びに登録関係統計
４）支部長の交代について
５）今後の理事会等の開催予定について

第222回　令和７年６月20日
［審議事項］
第１号議案　三重県支部（従たる事務所）の移転について
第２号議案　令和７年度社員選挙における選挙区域について
第３号議案　特定費用準備資金の積立計画について
第４号議案　令和７年度理事報酬の決定について
第５号議案　規程類の改正について
第６号議案　支部内部規程の改正について
［報告事項］
１）今後の理事会等の開催予定について

第223回　令和７年11月27日
［審議事項］
第１号議案　令和７年度上半期事業実施状況について
第２号議案　令和８年度事業計画骨子（案）について
第３号議案　就業規則の一部改正について
第４号議案　給与規程の一部改正について
第５号議案　勤務成績評価規程及び給与規程取扱要領の一部改正について
第６号議案　改良事業負担金の設定について
第７号議案　令和７年度認定和牛改良組合表彰について
［報告事項］
１）業務執行状況報告
２）社員選挙結果について
３）令和６年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について
４）今後の理事会等の開催予定について

第224回　令和８年３月19日

［審議事項］

第１号議案　令和８年度事業計画について

第２号議案　令和８年度収支予算について

第３号議案　特定費用準備資金及び資産取得資金の積立計画について

第４号議案　遺伝子型検査申込情報データ入力費の廃止について

第５号議案　役員改選に伴う役員候補者の道府県割当について

第６号議案　第13回全国和牛能力共進会について

第７号議案　支部内部規定の改正について

第８号議案　「団体役員賠償責任保険」の契約締結について

［報告事項］

１）業務執行状況について

２）令和７年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について

３）令和８年度事務局体制について

４）今後の理事会等の開催予定について

３）監査会　　２回（６月３日、11月26日）

４）公認会計士による会計指導　１回（８月８日）

５）支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

３．理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月	
会長理事　（常勤）	向井　文雄	H20.8	
副会長理事（非常勤）	秋元　勝彦	R6.6	※理事就任R3.6
専務理事　（常勤）	穴田　勝人	H28.7	
理事　　（非常勤）	後藤　元夫	R2.6	
理事　　（非常勤）	佐藤　潤	R7.6	
理事　　（非常勤）	森　敦	R5.6	
理事　　（非常勤）	渡部　幹雄	H20.7	
理事　　（非常勤）	川﨑　裕司	H28.7	
理事　　（非常勤）	荒牧　弘幸	R5.6	
理事　　（非常勤）	丸山　裕次郎	R6.6	
理事　　（非常勤）	竹内　和久	R6.6	
監事　　（非常勤）	高嶺　英康	H22.7	
監事　　（非常勤）	菅野　康徳	R7.6	

４．支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地22-1
秋田県	秋田市中通6丁目7番9号　畜産会館6F
山形県	天童市長岡北4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保23番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣1836-1
石川県	金沢市古府1丁目217番地
福井県	福井市高木中央2-4202　県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良2-2-1　県福祉農業会館
三重県	津市栄町１丁目960番地
京都府	京都市南区東九条西山王町１番地JA京都ビル
兵庫県	神戸市西区玉津町居住88番
島根県	松江市殿町19-1島根県農林会館別館3F
岡山県	真庭市草加部1810
徳島県	徳島市北佐古一番町61-11JA会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍1951-1
長崎県	長崎市銭座町3-3
熊本県	熊本市東区桜木6-3-54県畜産会館
大分県	大分市古国府六丁目4番１号　全農大分県本部別館２階
宮崎県	宮崎市広島1-13-10　県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町15　JA鹿児島県会館7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免1544　ＪＡながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触706　ＪＡ壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町938 ＪＡごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字糸原305番地　ＪＡみやざき宮崎中央地区本部内
南那珂	串間市大字大平5677 ＪＡみやざきはまゆう地区本部内
都城	都城市高木町622番地　　ＪＡみやざき都城地区本部内
西諸県	小林市大字南西方1112　ＪＡみやざき西諸県家畜市場運営部内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原21696-1　ＪＡみやざき児湯家畜市場運営部内
東臼杵	延岡市櫛津町3060　ＪＡみやざき東臼杵郡家畜市場運営部内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井1番地 ＪＡみやざき高千穂地区本部内内
曽於	曽於市大隅町岩川5591-1 ＪＡそお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁農政普及課内

５．事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1　JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7　県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35　県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	中巨摩郡昭和町西条3852-3　県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15　県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	全国農業協同組合連合会神奈川県本部	平塚市土屋1275-1
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10　大津橋ビル４階
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3　農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723　JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27　県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

Ⅲ．収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、１階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下１階及び２階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

Ⅳ．公益法人の運営体制の充実を図るための取組

1．社員選挙の実施

令和７年８月の社員選挙の執行にあたり、理事等からの実質的な影響力行使を排除するため、選挙管理委員会を設け、社員選挙にかかわる各種の事務の執行を行い、定款及び社員選挙規則に基づく社員 60 名を選出した。

２．外部理事・外部監事の選任および情報共有

公益認定制度改革による外部理事・外部監事の導入については、令和７年６月 20 日の第 79 回通常総会において外部監事として　全国農業協同組合連合会福島県本部本部長　菅野康徳氏を選任した。なお、令和７年３月末現在で外部理事として　いわてふるさと農業協同組合経営管理委員会会長　後藤元夫氏、外部監事として　公益社団法人沖縄県家畜改良協会　髙嶺英康　氏が就任している。

外部理事・監事の役割を全うするための情報提供として、出席義務のある総会・理事会、外部監事は中間監査会・期末監査会に加え、全国支部長会並びに登録支部主任者会議、全国支部長並びに登録審査委員合同協議会にも出席してもらい、理事の職務執行の監視・監査等、法人の運営状況に関する情報収集に資することにした。

３．組織情報・規程改正等の職員への通知

通常総会、理事会において決議された予算、決算、規程改正については、定例の職員会議（月例会）において全職員に通知した。

また、支部・支所職員事務研修会並びに各ブロック別登録主任者会議において、公益法人としてのガバナンス体制の整備及びコンプライアンスの遵守について説明・研修を行った。

４．環境に配慮した取り組み

環境に配慮した取り組みの一環として、年４回発行する会誌「和牛」（１回あたり 1600 部発行）に使用する用紙については、ＦＳＣ認証紙を用い、裏表紙にＦＳＣ認証マークを印刷して周知を行った。

令和７年度事業報告の附属明細書

令和７年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。